



哀れな国の哀れな大統領

(写真提供/Photoshot/PANA)

韓国一 流紙までが 反日原理主義

西村幸祐

評論家・ジャーナリスト



「日王」は最大の侮辱

八月十日の韓国・李明博大統領の竹島不法人国は、あたかも〈特定アジア〉の対日戦争開戦を高らかに告げるファンファーレのようだった。この日から九月十一日～十八日にかけて、支那全土に広がった反日暴動を経て今日に至るまで、日本を取り巻く東アジア情勢が厳しさを増していく。

支那の反日暴動は、中小都市を含む少なくとも百八都市・地域で行われる。

だが、実際には李明博大統領は「日王」と発言していた。にもかかわらず、日本メディアも韓国メディアの日本語版も正しく事実を伝えていない。まさか、時事通信は「天皇」の韓国語が「日王」であるという認識ではあるまい。

つまり、このような情報操作が日本メディアで日常的に行われているということであり、それが最も日本と近隣諸国との関係に悪影響を与える原因となっている。それは、ここまで事実を伝えると日本人の対韓感情が悪くなるというような配慮から、メディアが勝手に情報を操作しているからである。相手が何と言つているかを正しく把握することからコミュニケーションがはじまるのは、個人でも国家でも同じであろう。相手を正確に把握できなければ、話し合いの前提すら失われてしまうではないか。

韓国人が「天皇」を「日王」と呼ぶのは、小中華思想に基づいた日本人蔑視が根底にある。「皇帝」以上の「天皇」という尊称を支那の皇帝に使うのならまだしも、倭人と蔑む日本人が

れ、ちょうど四十周年となる日中国交正常化以降、いや、一九〇〇年の義和団の乱・北清事変以来の日本と支那の歴史上でも最大の外国排斥暴動となつた。

八月十五日の終戦記念日には、香港の活動家の操る漁船が尖閣諸島海域に侵入し、テレビクルーを含む十名の尖閣上陸を日本は許してしまった。前日の八月十四日には、韓国・李明博大統領が韓国教育大学のシンポジウムで、日王（韓国人が天皇を呼ぶときの蔑称）は『韓国を訪問し

たいのなら、独立運動で亡くなつた方に眞の謝罪をするべきだ』と述べ、実現するには植民地時代の独立運動家への謝罪が必要との考えを示した（八月十四日・時事）と報じられた。この時事電は、主語を『（天皇陛下は）韓国を訪問したいのなら』としている。韓国の聯合通信も日本語版で、『日本の天皇が韓国訪問を希望していると聞くが、まず独立運動の際に亡くなつた方に心から謝罪してから訪韓すべき』と述べたと報じている。

使用することを彼らの妄想的な自尊心が許さないからだ。つまり、日本人への差別意識に基づく、一種の執着がそうさせている。

じつは、今回の一連の支那の反日暴動にも、そのような華夷秩序による日本蔑視感情が根底にあることを見逃してはならない。支那人が「小日本」と言つて日本を蔑むのは、文化人類学的、歴史的文脈から読み解かなければならぬ背景がある。

ひきまづ
跪いて謝るべきだ

そもそも、天皇陛下の韓国ご訪問を日本側から持ちかけた事実がないばかりか、実際は、かねてから韓国側が天皇ご訪問を要請していたといふことも日本人に周知されていたのだが、この大統領発言は日本人の広汎な怒りを呼ぶことになつた。竹島不法人国より「天皇謝罪発言」のほう

が、遙かにインパクトが大きかったのである。

ところが、この日の李明博発言には、もっと重要な言葉が隠されていました。大統領府の公式文書では『深い反省を』と表記されたが、李明博大統領は實際にはこう言つた。

「(日王が)『痛惜の念』などという良く分からぬ単語を持つてくるだけなら、来る必要はない。韓国に来たいのであれば、独立運動家を回つて跪いて謝るべきだ」

儒教の因習が色濃く残る韓国では、罪人が謝罪するときに跪かせるのが一般的で、足を縛つて跪かせ、土下座させる刑罰も朝鮮半島にありました。つまり、李明博大統領の発言は「日王」が足を縛つて跪いて謝罪する姿までを連想させてしまうのである。この事実を韓国紙ソウル新聞がこう伝えていた。

『李大統領は現場で日王が「ひざまずいて謝るべきだ』

面白いことに、日本人に最初に天皇謝罪発言の真実を伝えてくれたソウル新聞はその後、WEBサイトの記事を改竄してしまう。現在、当該ページ(<http://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20120815003005>)を読むと、見出しが含め、「跪いて謝罪」という言葉は一切、なくなっています。これが、彼らお得意の歴史改竄の一例である。数々の歴史文献などを都合のいいように改竄するのが特定アジア、支那、韓国の特徴だが、そんな歴史的瞬間を目の当たりにできたのは僥倖だったのかもしれない。

李明博大統領の真つ赤な嘘

話はそれだけでは終わらない。李明博大統領の「日王土下座要求発言」を韓国は公式文書で削除したにもかかわらず、韓国の一流紙と言われる朝鮮日報が、政治部記者と論説委員

いて」謝らなければならぬという表現を使つたことが分かつたが、その後、大統領府が公開した発言録からは抜けていたことが確認された。

李大統領は日本の植民地問題については容赦できるが、忘れることはできず、追及すべきことは追及すべきだと声を高めた。「静かな外交」と言われた対日外交政策が強硬モードに変わったことが示唆される』([ソウル新聞] 八月十四日)

お得意の歴史改竄

この事実は、八月十四日中にインターネットを通じて日本にも伝わっていた。私もようど八月十五日の靖國参拝後に「やまと新聞」の記者にインタビューを受けたので、李明博大統領の「天皇謝罪発言」の真相を話した。「やまと新聞」は国会内で発行されている国会両院記者会の新聞だが、最近はインターネットで情報發

いて」謝らなければならぬという表現を使つたことが分かつたが、その後、大統領府が公開した発言録からは抜けていたことが確認された。

李大統領は日本の植民地問題については容赦できるが、忘れることはできず、追及すべきことは追及すべきだと声を高めた。「静かな外交」と言われた対日外交政策が強硬モードに変わったことが示唆される』([ソウル新聞] 八月十四日)

そのインタビュー動画がそれだけ多くの日本人の関心と怒りを呼んだのは、やはり天皇が日本人の核心に触れたからだろう。それは、一般メディアで報じられたかなり薄められた(李明博発言)でも多くの日本人が反発したことが証明している。

しかし、予想以上に日本の反発が激しいので、李明博大統領は天皇発言は誤って伝えられたと事態收拾を図っている。十月八日に韓国を訪問した麻生太郎元首相にも天皇の謝罪を要求したと伝えられたのは間違つた情報だ、と弁明している。

二人の常軌を逸したコラムを同時に八月二十日に掲載した。

驚いたことに、この二つのコラムは大統領発言に後押しされたのか、臆面もなく歪曲された歴史認識に沿つた反日感情剥き出しの「思想」を明らかにした。朝鮮日報は(保守系)の新聞として知られ、東アジアの安全保障関連の記事では日本の新聞より的確な指摘をすることがあるが、こ

と対日本という視点では、歴史認識が北朝鮮同様になつてしまつ。

政治部の李河遠記者は「天皇への謝罪要求、何が間違つているのか」とい

うコラムで、『野田内閣が追加の「報復措置』に着手したのも、この天皇王

批判が大きく作用している。しかし

韓国の立場からすると、天皇批判に日本の政界がこれほどまでに敏感に反応する理由が理解できない』(傍点)原文ママ)とし、こう続けた。

信も行つてゐる。その動画サイト(<http://www.youtube.com/watch?v=FJRWYuYrjKEg&>)で私の李明博発言についてのインタビューが配信される

YuYrjKEg&)で私の李明博発言についてのインタビューが配信される

約一週間後に告白していたのである。

面白いことに、李河遠氏はこの歪曲史観に溢れる文章で『王室』という言葉も使用している。この記事では「天皇」という表記になつてゐるが、「皇」という文字を忌み嫌い、今年のNHK大河ドラマ「平清盛」で登場人物に執拗に連呼させたように、「王」という言葉に固執する。前述したように、これは日本人を差別する朝鮮民族の〈極右民族主義〉に他ならないのである。

そして、李河遠氏はさらに滑稽な指摘を続ける。平成という元号は『史記』と『書經』から採つた『世の中と日本内外の平和を願う』という意味だ』と確認したうえで、『このように日本の王室が訴える平和を実現するには、まずは心から過ちを認め、これに対する批判を受け入れる勇気から持たなければならぬ。

西ドイツのプラント首相（当時）

ちの父や祖父が強制的に連れて行かれ徵兵された現場にも旭日昇天旗は翻つていた。日本が敗戦後に心から過去を反省し、許しを請うなら、まず旭日昇天旗を永遠に地中に葬ることから始めるべきだた』（同上）

韓国の一流紙で、これほどまでに拙劣なコラムに遭遇することは思えなかつた。引用傍点の部分は完全な嘘であるが、本当に信じ切つているのかもしれない。これは、本当に「朝鮮日報」なのか？何度も疑つて確かめたのだが、北朝鮮労働党機関紙でもなければ、日本の反日極左過激派組織の機関紙でも、日本共産黨の機関紙でもなかつた。もしかしたら、いわゆる「朝鮮日報」が、いつの間にか全く別の「朝鮮日報」が、いつの間にか全く別の「朝鮮日報」が、いつの間にか全く別の「朝鮮日報」が、

ここで明確にすべきなのは、すでに韓国では史実や歴史認識とは全く

は1970年12月、ボーランドのワルシャワにあるユダヤ人犠牲者慰靈碑前で膝をついて謝罪した。日本も

この事を思い起こすべきだ。天皇は決して神聖不可侵ではない。

今上天皇は手遅れになる前に、ブランドント首相のように膝をついて謝罪する

写真を歴史に残すべきだ』と結んでいる（同上・傍点筆者）。

独りよがりの歴史観

これでは、まるで反日工作員のアジビラと同じではないか。しかも、韓国が政府とメディアが一体となつて李明博発言から隠蔽した『膝をついで謝罪』というキーワードが何度も顔を覗かせている。実際、五月下旬にNYタイムズに出稿され、十月にはタイムズスクエアの看板広告となつた「Do You Remember?」という韓国人が資金を出した意見広告のビジュアルには、李河遠氏の説明どおり

別の次元で、反日原理主義が根づいているという事実である。イスラム原理主義の過激派タリバンが、パキスタンで女性の自由を訴える十四歳の少女を虐殺しようと銃撃するテロリスト本質的には同じものだ。反日という宗教の原理主義が、すでに情報テロリズムの形態を取つて私たちに襲いかかつていているのである。

金泰翼論説委員の珍妙なコラムは、最後に自爆する。爆笑である。

『ロンドン五輪でも日本の体操選手団が旭日昇天旗を連想させるユニフォームを着て出場し、物議を醸した。早々にナチスのシンボルマークを禁止したドイツと、旭日昇天旗を今でもあがめる日本を見ると、両国の国の品格には大きな違いが感じられる』（同上）

ロンドン五輪の日本体操チームのユニフォームが旭日旗を連想させるといつて物議を醸したのは、世界中

の西独・ブランドント首相の謝罪写真が使用されたのである。慰安婦や日本の朝鮮統治と全く無関係なナチスドイツのユダヤ人虐殺を、さも同等であるかのように妄想する独りよがりの歴史観に頭を侵されているのである。

一方、世代が李河遠氏より上の金泰翼論説委員も、「旭日昇天旗」とい

う奇妙なタイトルのコラムで日の丸の起源を説き、同時に輝かしい伝統のかつての海軍旗、現在の自衛艦旗である旭日旗を珍妙な奇説で貶めた。

『旭日昇天旗は軍國主義の日本のシンボルだった。生きた人間を人体実験の対象にした731部隊、旧日本軍が罪のない中国人100人に対し、誰が早く首を切れるかを競い合つた南京大虐殺はタイムズスクエアの看板広告となつた「Do You Remember?』という韓の現場にも旭日昇天旗がはためいていた。

旧日本軍の性奴隸（従軍慰安婦）たちのやるせない思いが詰まり、私た

(CSIS) が、「アーミテージ＆ナイ・レポート」を発表したのである。

戦略国際問題研究所(CSIS)

は米国の有力なシンクタンクの一つで、アーミテージ・レポートがCSISから出されるのは二度目である。今回はオバマ政権の駐日米国大使の呼び声もあつたジョセフ・ナイとの共同執筆という形を取り、米国

のこれから対日基本戦略を述べて

いる。最初にアーミテージ・レポートが出されたのは2000年、次が2007年であったが、明らかに今回の報告には質的転換がある。

九・一一テロ以前に出された最初の報告は、日米同盟の深化が謳われ、日本を太平洋の英國に位置づけようとする米国の極めて前向きな意図があつた。二十一世紀を迎えた日本がこれに応えることができなかつたツケがいま、大きなわが国の障害とな

つてることは言うまでもない。

次の二〇〇七年の報告では台頭す

る支那というテーマがあり、日米がアジアを導かなければならぬといふコンセプトに貫かれていた。今は民主党政権の下で日米同盟に軋みが生じた状態で、米国対日基本戦略が明らかになつたわけだ。

極めて重要なシグナル

今回、明らかになつたのは、これまでにない日本のポテンシャル低下が米国に自明のこととして受け止められていることである。震災後の「トモダチ作戦」を契機とした日米同盟の再確認、支那の〈核心的利益〉という中華覇権主義への警戒、と日本の力に米国が期待していることには変わりはないが、極めて重要なシグナルを見落としてはいけない。

それは、アーミテージ・レポート

に韓国がはじめて表立つて登場したことである。日米両国は、支那の台頭とそのパートナーで核武装した北朝鮮の脅威に直面していると序論で述べられているが、米国は明瞭に〈日、韓米の三ヵ国の連携〉の重要性を強調している。

さらに、日韓の緊張緩和のために米国も外交努力をすべきだとしたうえで、日本に対しては韓国との歴史問題に向き合うよう求めている。日米韓の関係強化が不可欠だという前提があるが、報告で歴史問題に言及したのは異例のことである。しかも、日本が韓国にもつと耳を傾けるべきという主張が強く打ち出されている。

もちろん、李明博大統領は韓国寄りの〈アーミテージ・レポート〉の内容を知つて竹島に不法入国したわけではないだろう。ただ、民主党政権が誕生してからの三年間で日本が著しく国力を低下させたことは間違いない、その隙を衝いて韓国は対日外交をやすやすと国益のために展開できる環境になつていた。

経済・金融面でも米国の円高誘導に乗じて、韓国企業はこの三年間で日本の家電メーカーを追い詰めた。まるで、米国が歴史認識問題と為替レートの両方で日本に韓国への譲歩を迫つていたかのような状況である。そんな背景もあり、反日リミッターや振り切れた形で、李明博大統領は常軌を逸した対日攻撃に出たのでないだろうか。李明博大統領が「日本下座要求発言」と同時に言つた「日本の影響力はかつてほどでなくなつた」という発言にも、そのような背景があつたはずだ。

アーミテージの歴史認識

知日派米国人として知られるリチ

ヤード・アーミテージ元国務省副長官でさえ、歴史認識では韓国寄りと言つていい。原因は、日本の外交力、パブリック・ディプロマシー（広報外交）、情報発信力が著しく劣つていて正しい歴史事実が伝えられないからなのだが、それだけが原因ではない。むしろ、歴史事実を知ることが不愉快な米国人も多くいて、歴史事実を知つても目を伏せて見ないふりをしている。

知日派であろうと反日派であろうと、米国にとって日本は永遠に第二世界大戦前は軍国主義の人権蹂躪が横行した野蛮な国であつてほしいのである。そうでなければ、原爆投下や焼夷弾の絨毯爆撃で、百万人に及ばんとする日本の民間人を虐殺した米国対日戦争のレジテマシーが保たれないからだ。

アーミテージと共著もある日経新聞の春原剛編集委員が、八月二十五日の紙面でアーミテージにインタビューを行つている。

『春原剛編集委員』歴代の米政権は日韓関係への言及や介入を表面的に避けってきた。なぜ、この時期にその「慣習」を破つたのか。

アーミテージ元国務副長官 政治家は世論の支持率を上げるため、ナショナリズムを使う。北朝鮮がその刃を双方の喉元に向けているにもかかわらず、重要な民主国家の同盟相手が互いの刃を突き付け合つては不健全だ。

我々は中国を平和的に（アジアの大）国として迎える努力を続けているが、この地域に強固な民主主義が達成された場合にのみ、実現可能だ。現状のように二つの民主国家がお互ににらみ合つていては、実現は到底おぼつかない。（中略）

春原剛編集委員 従軍慰安婦や歴史認識にも触れるのか。

アーミティッシュ元国務副長官　狀況に応じて取り組まなければならぬ。事実はただ一つ。それは悪いことであり、実際に起こつた。そして、日本人の何人かが責任を負つてゐる。それで話は終わりだ。冷静な歴史を教えることから始めればいい。歴史はすでに起こつたことであり、今さら変えられない。

ただ、その大部分を過去のものとし、前に向くことは可能だ。我々はこの問題に対処しなければならない。(米国は)日韓両国による和解を望んでいる。両国には長期にわたる戦略的な目的を常に頭に置いてほしい》

も、この程度の認識なのである。では、歴史事実はどうなのか、何が『実際に起こった』のか、『責任を負って指摘しておきたい。

糾について韓国で講演した際に、朝鮮日報の記事では〈日王〉と発言した

これが八月二十日に伝えられている。
『在日韓国人二世の姜尚中東京大学
大学院情報学環教授は十八日、ソウ
ル市内で行われた金大中元大統領の
逝去三周忌記念講演で「特に日王（天
皇）に対する（李大統領による謝罪要
求）発言が最も大きかった。独島（日
本名・竹島）問題だけでは事態はこ
れほど大きくならなかつただろう」と
述べた。さらに「李大統領の独島訪問
と日王に対する謝罪要求は、韓国に
反発まで招いている」と語った』（朝
鮮日報）八月二十日

もし記事のとおりなら、姜尚中の
ような天下の東京大学教授でさえ、
〈天皇〉という言葉を使えないものであ
る。その理由はいつたいどこにある
のだろうか？

自己客觀性の欠如

日韓併合後、日本は朝鮮半島近代
化のために、徹底してさながら中世
の暗黒世界だった李朝の文化を一掃
することに努めた。その結果、白丁
と蔑まれていた被差別階級の人々を
解放し、両班ヤンバンと呼ばれた非生産的な
貴族階級の特權を廢止した。

したがって、李氏朝鮮では文字と
して認められていなかつたハングル
文字を学校教育で使用して庶民の識
字率を飛躍的に高め、教育の普及に
も成功できたのだった。

ところが、そういった日本の近代
化施策は、必然的に李朝文化を悉く
ことごとく

自己客觀性の欠如

日韓併合後、日本は朝鮮半島近代化のために、徹底してさながら中世の暗黒世界だった李朝の文化を一掃することに努めた。その結果、白丁と蔑まれていた被差別階級の人々を解放し、両班^{ヤンバン}と呼ばれた非生産的な貴族階級の特権を廃止した。

したがって、李氏朝鮮では文字として認められていなかつたハングルを学校教育で使用して庶民の識字率を飛躍的に高め、教育の普及にも成功できたのだった。

このような状況を作り上げたのは、韓国の執拗なロビー活動なのかかもしれない。ただ、そういった手段で、たとえば〈従軍慰安婦〉という虚構を仮想現実として構築してしまえば、その時点で韓国は情報戦に勝利する。したがって、そんな状況が韓国人の反日原理主義的歴史観をリアルの世界で補強して、李明博大統領らの奇矯な言動を生んだのである。

だ。竹島も典型的な例で、韓国の古地図に竹島が描かれているものが一つもないこと。日韓併合前の一九〇五年の第二次日韓協約で竹島が奪われたと彼らはいつも主張するが、一八八九年に大韓帝国で発行された「大韓地誌」に記された韓国領海外の東経一三一度五二分に実際の竹島が存在していること。この二つの事実だけで、「独島」の嘘は暴かれるのである。

にもかわらず、なぜ国際的なロビ－活動やスパムメールを含めた対外情報活動にかくも熱心に取り組むことができるので、日本人にはとても理解できなくな。

理性や論理を超えたところで彼らは仮想現実の歴史の構築に勤しむのだが、日本への怨嗟だけでなく、じつは蔑視感情がそのエネルギーの原動力になつてゐるのではないか。

破壊することになった。その結果、近代化に成功し、日本統治で衛生状態も飛躍的に向上、人口が三倍にもなったにもかかわらず、自分たちの文化が破壊されたという怨嗟が歴史の襞^{ひだ}の中に沈殿し、「恨」と呼ばれるメンタリティを形成したのである。

当然 韓国は日本を絶対視する
自分たちの独立を奪い、文化を弾圧
した（悪）そのものとして朝鮮統治時
代の日本を絶対視することで、（宗教
としての反日）が生まれることにな
ってしまった。反日という宗教が、
嘘を嘘と認めない「マトリックス」（假
想現実）としての反日、（仮想現実と
しての反日）の本質なのである。

したがつて、現実とはまったくかけ離れた仮想現実の『従軍慰安婦』が、ソウルの日本大使館前にプロンズ像として出来上がる気になる。そして、仮想現実はリアルを求めて

過激化するので、反日という宗教から原理主義が生まれるのも当然だつた。

韓国が、もし日本からより自由になれば、日本を絶対視せず、日本を相対化することで歴史認識も「マトリックスとしての反日」から離れられるだろう。ところが実際は、「反日反日」と攻撃しながら、じつはどんどん日本の懐に入つて来る。日本人とすれば、そんなに煩わしいことはない。嫌いで憎むのであれば離れた場所から見ればいいのに、全く真逆に韓国は行動する。

客観的に韓国人が自分たちの歴史を見ることができれば、彼ら自身が自由になれる。それが、日本を絶対視せずに客観化するということなのである。日本の統治時代をどう客観的に評価できるかで、彼らの歴史認識の全ては決まる。そうなつてはじめて、韓国の反日原理主義も衰退し、

議案の代表となり、与野党国會議員六十八人が参加して発議した。

安議員は「旭日旗禁止に対する政府の努力が不足している。IOC、FIFAなどにずっと意見を述べていくべきだ」と述べ、中央日報は九月二日付で、《スポーツ法専門家のソン・ソクチョン南ソウル大スポーツ経営学科教授が「政府が直接動けば韓日両国に政治的な葛藤を招く」とし「政府よりも民間レベルで旭日旗を持つ意味を世界に知らせ、日本が旭日旗禁止法を制定するよう圧力を加える必要がある」と述べた」と伝えている。内政干渉という概念もない。

滑稽なことに、支那の反日暴動で騒然としている九月十六日に、同紙でこんな記事が目に留まつた。

『米国に居住する韓国人らがニューヨークのラッピングにある図書館前で、旭日旗の使用に反対する集会

アーミテージ・レポートにある日韓米の連携も可能になるのである。

韓国「甘えの構造」

じつは、彼らはこれまで似たようなことを平然と行い、観客もスタジアムで平気な顔をして伊藤博文を暗殺したテロリストの肖像を大きく掲げたり、竹島は韓国領土だというスローガンや、震災後の試合で「日本の地震をお祝いします」などという言葉を嬉々として表示してきたのだつた。しかし、アジアサッカー連盟や日本サッカー協会が厳しい抗議をしたという話も聞いたことがなく、韓国人はいわば、歴史認識における日本の〈甘えの構造〉に慣れ切っていたので、ロンドン五輪で全く悪びれもせずにルール違反を犯したのだつた。

ところが、あの行為が世界的に非難されると、彼らは逆に日本を非難し始めるという理解しがたい行動に

を開催したと報じた。韓国では旭日旗を日本の軍国主義の象徴とする見方がある。集会に参加した韓国人は、8月23日にニュージャージー州バラセイズ・パーク市内の慰安婦追悼碑の前で結成した「日本戦犯旗を排除するための市民集会」のメンバー。団体メンバーは30人あまりで、この日の集会では「旭日旗はアジアのナチスの旗」と書かれたプラカードを持ち、抗議を行つた》

さらに、十月十四日に終了した東京で開催されたIMF世界大会で、ラガルドIMF専務理事がご臨席された皇太子殿下を「your Imperial Highness」(皇太子)と最高級の尊称で呼んだのに対し、在米韓国人のキ

ム世界銀行総裁が「your Royal Highness」(王子)と呼んだことを、

自慢げに韓国メディアは報道してい

る。

にじむら こうじゅう
一九五一年、東京都生まれ。慶應義塾大学文学部哲学科中退。学生時代、「三田文学」の編集を担当。編集、コピーライターを経て、F1、サッカーを中心とした執筆活動に入る。二〇〇二年のW杯以後、拉致問題、歴史問題を取り上げて著書に文庫版「反日」の構造」(文芸社)、文庫版「反日」の本体」(同)などがある。最新刊は「幻の黄金時代」(桂文社)。

出した。先に朝鮮日報の論説委員のコラムを紹介したが、スポーツの世界で日本が旭日旗を使うのはナチスの旗を使うことと同じであり、旭日旗は日本の軍国主義を象徴する旗だとも荒唐無稽なことを真顔で言い出したのだ。

旭日旗は帝国海軍の正式な旗であり、いまも海上自衛隊の公式な自衛艦旗だ。陸上自衛隊も使用することもあり、世界的に公式に認知されている。日の丸の兄弟として、意匠的にもともと大漁旗に使われていたように日本古来の意匠で、ハーケンクロイツとは似ても似つかぬものを、韓国人は勝手に「マトリックスとしての旭日旗」に仕立て上げて興奮するのである。

八月二十九日には、韓国国会で安敏錫(アン・ミンシク)民主統合党議員が「日本の旭日旗

使用・競技場内搬入禁止対応要求決